

# ヤマト福祉財団 NEWS

Yamato Welfare Foundation 2010 Autumn

10月20日発行 No28

私たちの賛助会費が活かされています ■障がい者福祉助成金 助成先レポートVol.8 〈大牟田市〉

## 「仕事の流れ」が見えたら、意欲も工賃もアップ



事業所から5分くらいの場所にあるエンゼル自慢の農園で、利用者のみなさんとスタッフが全員集合

私たちの賛助会費が活かされています  
奨学生レポート VOL.5

教師に、小児科医に  
夢をつかんでほしい

スワン工舎 卒業生訪問5

この街で一緒に生きていく  
障がい者のクロネコメール便  
配達

YWF TOPICS

“お総菜が売れていくのがうれしい”  
好きな調理が仕事になりました

みんな、社会に出る  
突破口を探してる。

## 日本で学ぶ障がい者の生活

多くの学生が行き交うキャンパスで待ち合わせ場所に現れたのは、イスラムエムデイ・シャリフルさん。2008年に留学生としてバングラデシュからやってきました。

海外で多くのことを学び、視野を広げたいと考えていたエムデイ・シャリフルさんは、高校卒業後は語学学校に通い、チャンスを探していました。

「バングラデシュでは障がいのある人たちの生活は大変ですから、発展している国や社会ではどういう生活ができていたのか知りたかった」そうです。バングラデシュでは障がい者をケア



# 教師に、小児科医に

# 夢をつかんでほしい



図書館で

するための社会保障制度が未整備で、家族が自力で面倒を見るのが一般的だと言います。

すっかり日本語もマスターし、成績優秀で特待生にもなっているエムデイ・シャリフルさんに、日本の障がい者を取り巻く環境について訊ねてみました。

「南アジアにユニバーサルデザインがきちんと反映された社会はないんです。たとえば、この大学のようにエレベーターが設置されているようなことはまずありません。

一方で、日本では障がいを理由にアルバイトを断られることも多く、生活が大変です。バングラデシュとちがって、日本は光熱費や生活用品がとても高い

イスラムエムデイ・シャリフルさん (Mr. Islam Md. Shariful)  
立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部3年生

## 母国で障がい者のための教師になりたい！



ですから」

後に続く人たちのために

学業以外にも、自らサークルを立ち上げ、精力的な日々を送っているエムデイ・シャリフルさんですが、その向学心はまだ

まだふくらむばかりです。

どうすればユニバーサルデザインを社会に取り込むことができるのか？ここを卒業したら、つぎはフィンランドの大学院へ進学したいと考えています。そして、その後は帰国し高校の先生になるつもりです。

「私の育った町には、障がいを抱った人たちが勉強する場がありません。いつしかそういった人たちが我が家に集まり、母が先生役をするようになりました。私の夢はそれをきちんとした学



自ら立ち上げたサークルで生協の品揃えを要望。イスラム教で許されているHALAL FOOD（ハラールフード）も店頭に並ぶことになった

校にし、その教師になりたいのです」静かな語り口の中に、エムデイ・シャリフルさんのゆるぎない志を感じました。

海外で勉強する望みをかなえ、バングラデシュ人民共和国より留学生として単身来日。生後まもなくポリオ（急性灰白髄炎）により左足に麻痺が残る。南アジア社会におけるユニバーサルデザインの可能性について学んでいる。母国で障がい者の学校をつくりたいと話す。

奨学生のみなさんが  
社会で活躍する日を心待ちにしています。

障がい者奨学金制度  
当財団では、障がいのある大学生（短大を除く）に、年間60万円・返済  
不要の奨学金を助成しています。現在34名の方がこの制度を活用して  
います。

私たちの賛助会費が活かされています

## 奨学生レポート

Vol.5



臨床検査技師の国家資格を取得するも、ボランティア活動を通して、障がい児の親に対するサポート体制がいまだ不十分であることを痛感。一念発起して医学部を再受験し、小児科医を目指している。先天性の両耳性難聴という自身の経験も生かした〈地域の頼れる医師〉がその目標だ。

## 障がいは自分を強くするもの、 家族の絆を深めるもの

■ 孝行心から勉強好きに

「医学部を再受験するって言っ

たら、両親からは『あんたが決めたことなら最後までとことんやりなさい』と…」そう言っ

笑った吉田さんは見事、念願を果たし、今年から医学部生としての日々を送っています。

その決断に周囲の友人は「その年になってまだそんなにやりたいの？」という反応。それもそのはず、吉田さんは当時、すでに大学で臨床検査技師を目指している真っ最中でした。

物心ついたときから耳が不自由だった吉田さんは、ご両親の

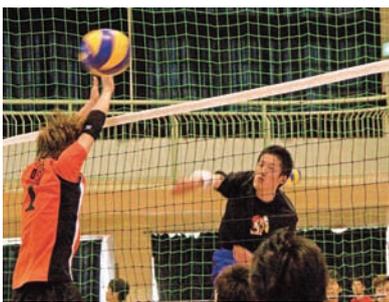
吉田 翔さん  
佐賀大学 医学部 1年生

方針で普通学級へ。補聴器の助けと口元の動きを読む方法で、いまではご両親から「早口と言われる」ほど、流ちょうに喋ります。

小さい頃にはいじめにも遭いましたが、むしろ跳ね返すぐらいのやんちゃぶり。「でも中学に入って、ふと自分の人生って何だろうって思ったんです。そして、まず親孝行したいな、と。それで働いて稼ぎたいと思ったんですが、中学生でそういうわけにもいかないので、とりあえず勉強して、地元で一番の高校を目指すことにしました」やがて九州大学に進学して臨床検査技師への道を歩むことになりました。

■ 一日を一生懸命に生きれば、  
明日は変わる

ところが大学3年生になってボランティアで引き受けた講演が、彼の目標を変えました。障



中学校ではキャプテン、高校では佐賀県ベスト4に。国体選手にも選ばれたが、辞退

がい児童の保護者向けに、自身の体験を披露したところ、たくさんの方から質問や子育ての不安を訴える声を聞いたのです。

「障がい児童のご両親へのサポート体制がまだまだ不十分だと実感しました。それなら自分だからこそできることもあるはず」。自身の可能性を広げることにもつながると考えた吉田さんは、これを契機に医学部の再受験を決断します。

障がいのある子と親御さんの架け橋になりたい……。自ずと目指す進路は小児科医に定まりました。

「自分は喋れるようになって、親がどれだけ苦労したか、いまは想像できます。一日を一生懸命生きれば明日は違う光が見える。親ががんばって育ててくれた分、がんばって応えようって思うんです」

経済的負担をかけたくない吉田さんは、奨学金を活用して一歩ずつ自分の夢に近づこうとしています。



# これからの施設・事業所のあり方を みんなで学び、実践 「パワーアップフォーラム」

今年も、パワーアップセミナーから「パワーアップフォーラム」として、全国各地の実行委員会の運営で開催しました。参加者全員で障がい者の働く場づくりのより良いあり方などを学び、考えていくことを目的としています。

ここでは「行動につながるシンポジウム」に参加された、障がい者の働く場の拡大や賃金アップに対して独自のアイデアを持つお二人の取り組みをご紹介します。



福岡を皮切りに全国7箇所で開催したパワーアップフォーラム



「行動につながるシンポジウム」で積極的な意見交換（宮城会場）



基調講演を行う有富理事長（福岡会場）



シンポジスト 有限会社サニー 代表取締役 柴田進さん  
元ヤマト運輸の社員の柴田さんは、障がい者の就労における厳しい現状を知り、行政・企業・施設それぞれの問題点を学び、新しい訓練と就労の仕組み「リンクル方式」をつくりました。現在、障がい者の自立支援を企業、施設に働きかける（有）サニーを立ち上げています。

## 同じ場所、同じ業務、 同じメンバーの職場に 就労できるシステムを考えました

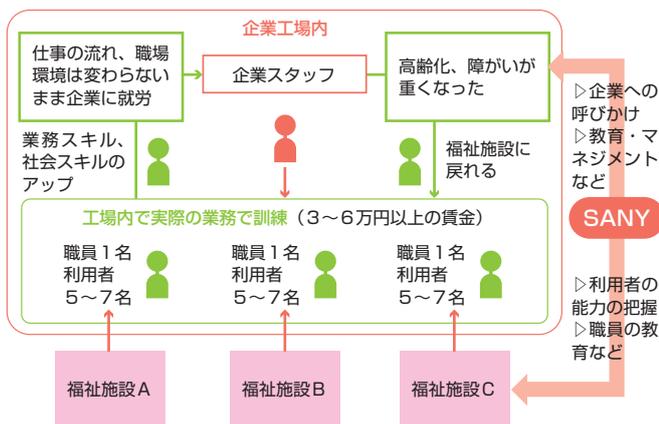
多くの企業や商店街さんにご協力いただき、利用者さんは就労訓練の実習を行っているのですが、しかし、実際に就労できるのは別の職場・業務となることが多く、また一からの勉強となってしまう。訓練と同じ職場、同じ業務、同じ人間関係に就労できれば…。そこで私が考えたのが「リンクル方式」です。

例えばある工場に呼びかけ、仕事の一部を「業務委託」していただきます。これにより利用者さんは、その工場に入り仕事のやり方、考え方、人とのつきあい方などを訓練していきます。そして力が付き、企業に認めてもらえれば、「その職場・職種にそのまま就労できる」そんな流れを作ります。

## 実習から就労へ 私の役目は、企業、施設職員への 教育やマネジメントです

私の役目のひとつは、施設職員への教育です。利用者さんの人・仕事とのアン

### ◆リンクル方式の体制について



マッチングをなくすためにアセスメントを用意し、利用者さん一人ひとりの個性に合わせた仕事の指導方法を施設職員に教えます。また企業に対しても、利用者さんたちを実習から就労へとステップアップさせるためにどういうインフラの考え方をするか、どういう仕事の構築をするかを教育・マネジメントします。  
この方式なら、企業は必要な人材を確保でき、またコスト圧縮のメリットも生まれてきます。コスト圧縮といっても、利用者さんに3万円以上の工賃を確保できていますし、多い人では6万円以上にもなっています。利用者さん、企業、施設みんなが納得できる就労を実現できるように、この方式が浸透していくと良いですね。



ディセントワークに結びつけて、障がい者を取り巻く問題を話す藤井克徳氏（札幌会場）



小倉昌男賞受賞者による講演「飽くなき挑戦」。写真はチャレンジャー施設長・新堂 薫さん（大阪会場）



行動につながるシンポジウム（福岡会場）



会場に作られた物産展では、各施設の商品を販売（札幌会場）



真剣に話を聞く参加者、どの会場も盛況（岡山会場）



質問や意見も活発に（大阪会場）

### ICTを駆使し、重度の障がい者も在宅雇用や就労ができるように支援

私たちは、障がいにより企業に通勤するのが難しい方に、ICT（パソコンやネットワーク）を使った在宅での雇用や就労を支援しています。まず必要なのは、働くための準備をしっかり和整えることです。パソコンを指一本でも、足でも、音声でも操作できる、そんな人それぞれに適した無理のない「作業環境」を用意します。その上で、必要なスキルや資格を在宅でも修得できる「技術教育」を行います。

こうして作業環境やスキルを整えた上で、自宅での雇用や就労を進めていきます。基本的な考え方としては、週二十時間以上自宅で働ける方には「就職支援」を、それ以下の方には「請負型のネットワーク就労」で、各人の希望やスキルに応じた仕事ができるように支援していきます。

### 雇用や就労が広がることも、事業者の認識違い、二次障がいなどの問題も

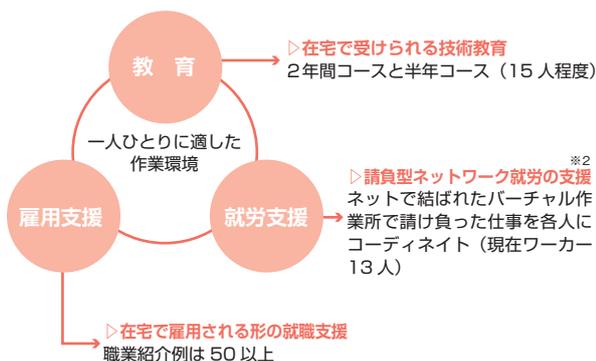
以前は在宅雇用の仕事というプロダ



シンポジスト 社会福祉法人 東京コロニー 職能開発室 堀込真理子さん  
外資系IT企業に勤めた堀込さんは、80年代のアメリカですでに障がいのある方の雇用・就労の支援体制が整えられていたことに驚いたそうです。日本でもぜひ実現したいと社会福祉法人東京コロニーに転職。ICT<sup>\*1</sup>を活かした在宅での雇用や就労支援をはじめました。

ラム、データ入力など限られていたが、ネットワーク技術が進んできました、動画を扱う仕事から総務、人事、秘書業務まで驚くほど職域が広がっています。しかし、それにとまなないさまざまな問題も浮かび上がってきました。在宅雇用を手間のかからない手取り早い人材確保だと勘違いしている事業者、社員なのに外注と大差のない対応をする事業者なども現れています。また、請負型のネットワーク就労の場合、無理な作業環境で長時間働き、二次障がいを起こしてしまう方も出ています。行政、企業、支援団体みんながディセントワークの本質を見つめ直し、障がい者の在宅雇用、在宅就労を的確・安心して進められるように、公的支援も含めてより良い体制が実現できることを願っています。

### ◆ICTによる在宅雇用・就労支援サービス



\*1) ICT (Information and Communication Technology=「情報通信技術」)とは、情報や通信に関連する技術一般の総称です。

\*2) 請負型のネットワークとは、支援団体が仕事を受注し、ネットワーク上で登録しているワーカーに仕事を紹介。コーディネーターが希望者のスキルなどに応じて無理なく就労できるように指導していくというものです。

私たちの賛助会費が活かされています ■ 障がい者福祉助成金

助成先レポート

Vol. 8

# 「仕事の流れ」が見えたら、

# 意欲も工賃もアップ

社会福祉法人 地域福祉を支える会  
多機能型事業所 エンゼル・ケアホーム希望の家  
福岡県大牟田市



オーブンを囲んで全員集合。最後列に梶田委員長(左)、財団九州支部目野事務長

一年で売上をいっきに2倍に伸ばしたエンゼル。その一助となったのが、助成金を活用して購入した一台の厨房機器です。それまでの取り組みとの相乗効果で、利用者のみなさんの間に好循環を生んでいます。

## 「できるできない」は二の次

夏の陽射しを浴びて、ナスやとうもろこし、きゅうりにゴーヤ、緑眩しい農園はにぎやかです。ここは福岡県大牟田市の住宅街の一角。「地域福祉を支

える会・多機能型事業所エンゼル」自慢の農園です。

エンゼルは1992年、行き場のない子どもたちを預かるために自発的にスタートしました。手弁当で始まった会ですが、頼りにする人はどんどん増えてい

きます。そして、農作業しかできないという利用者さんを引き受けるにあたって、2008年には農園用の土地を用意する決断をしました。

「スタッフは誰も農作業の経験がないし、荒れ地を耕し石ころを取り除くところから始めました。こんな状況で、売れるような野菜は作れないのでは…」と、当初は思っていました」と施設長の増田佳子さん。しかし、専門家の力も借りて、早くも2年目には収穫ができるほどになりました。

## 厨房機器の導入で効率化

体に優しい無農薬野菜に注目が集まる時代です。野菜販売はご近所の評判を得ました。ですが、傷などでの理由で販売に回すことができない野菜がどうしても余ってしまいます。

「もったいないので調理して、総菜として販売しようと考えま

**エンゼル農園**  
この農園では、体にやさしい安心で安全な季節の野菜づくりを行っています。地域の皆様にも直売しておりますので、どうぞ、お立ち寄り下さい。

連絡先 社会福祉法人 地域福祉を支える会  
エンゼル(障害者事業所) TEL.59-3033



収穫した野菜は、近所への販売や総菜の材料に

助成先訪問 シリーズ3

気負いはらない。  
ごく普通に  
助け合えればいい



●ヤマト運輸労働組合  
福岡支部執行委員長  
ノブタ 榎田 伸寛さん

組合の仕事柄、支社ごとに行われている助成金の贈呈式にいつも出席します。ですが、今回のように時間を取ってじっくりとお話をうかがうことはなかったもので、今日はとても勉強になりました。

街で障がいのある方を見かけて、何かしてあげたいなと思ってもどういうタイミングで声をかければいいのか分からない時がありますよね。でも、気負わずにごく普通に声をかければいいんだ。そうすれば絶対、笑顔で返してくださると実感しました。

工賃が上がったという話を聞くのはうれしいですね。

私たちの「夏のカンパ」がお役に立っているという証ですから。

今後は広く組合員の理解を深めて、もっと全体的な運動につなげていきたいと思っています。



クッキーづくりに参加



したが、フライパンだと焼きそばでさえ、やれ焼き具合はどうだとみんなでてんやわんや。15〜20食を作るのが精一杯で、限界を感じていました」  
そこで、エンゼルは当財団の助成を活用して業務用のコンベクション・オーブンを導入しました。スイッチ一つで一度に何

焼き菓子にもトライし評判に

「自然に触れていると利用者さんたちはいきいきとしてきます。さらに、採れたものを加工して、売って、収入につながる。すると自分たちの仕事の流れがすべて見えるでしょう。それがとても意欲につながっているようで、1カ月に半分ぐらい休んでいたお子さんもいたのですが、今では1日も休みません。休日

品もの焼き／蒸しが可能です。「野菜は収穫したままのきれいな色に仕上がりますし、熱も隔まで回り、失敗がありません」さらに調理のクオリティ向上以上に導入してよかったことがあると言います。



オーブン(左)を活用したクッキーづくりで、売り上げが2倍に

出勤もいとわず、『お客さんにおいしいと言ってもらった!』と喜んでます」  
さらに1年前からは総菜だけでなく、オーブンをもっと活用しようと、クッキーなど、焼き菓子の製造販売を始めました。PTAの物品販売やゴルフの景品として、大量注文も舞い込むようになりました。クッキー効果で売上は2倍に。工賃も平均すればまだ月給5千円ほどですが、高い人は1万3千円を超えるとこ

「今後は新商品の開発にも力を入れて、1、2年のうちには工賃3万円を達成したいですね。そしていずれは5万円に。ただし、焦りすぎると利用者さんのプレッシャーにもなりかねないので、いつも意欲と夢を持ってこの施設へ通ってくださるよう気を配りながら、着実に進めていきたいですね」と増田さんは展望を語りました。



施設長の増田佳子さん



▲福島県の耕作放棄地で、この秋に本格的な収穫を迎えるさつまいも。雑草だらけに見えるが、これは雑草と共生した農法のひとつ。虫は雑草につき、直射日光を浴びない適度な日陰により、土には湿度が保たれる

(株)スワンの活動が広がっています

## 耕作放棄地から広がる 無限の可能性

スワンが、福島県にある耕作放棄地で無農薬野菜の栽培と流通のお手伝いをはじめました。新鮮な旬の野菜は、スワンを通して全国の施設で販売していただけます。

### 全国の施設で無農薬野菜を販売できます

スワンでは、新鮮な無農薬野菜を全国の施設が販売し、売上げに貢献できるようにと考えています。これを実現するきっかけとなったのは、スワンが地元コミュニティの一員として参画している銀座ミツバチプロジェクトから誕生した「農業生産法人」へのアライアンスでした。農業生産法人では、福島県の耕

作放棄地を使った無農薬野菜の栽培を進めていましたが、収穫した野菜をどうやって流通・販売するかで悩んでいました。そこでスワンは、ヤマト運輸のインフラを活かし、流通システムをつくることに協力したのであります。このアライアンスをきっかけに、全国の施設での新鮮な野菜の販売が可能となりました。

### お互いに力を発揮できるアライアンスへ

(株)スワンの海津歩社長は「いま私たちには、消費者にもっとアピールできる商品開発や売り方の差別化を図る工夫が求められています。それには、マーケティングや商品力強化のた

めに、専門家や地元コミュニティなどとのアライアンスが必要ですが、その場合、双方が自分の持つ力を効果的に出し合える関係が理想的です。今回の無農薬野菜販売の試みがスムーズに

## 「銀座ミツバチプロジェクト」に参加

銀座のビルの屋上では、緑化目的で植えられた無農薬の菜の花などに、ミツバチが飛び交います。今年5年目を迎える『銀座ミツバチプロジェクト』は、銀座の街を愛する人々が集まって結成された特定非営利活動法人。銀座のビル屋上でミツバチを飼い、ハチミツを生産しています。少量の農薬でも死んでしまうミツバチは、銀座の環境を守るための大切な指標でもあります。スワンのメンバーも屋上緑化やハチミツの採取に参加したり、銀座で採れたハチミツを使ったラスクやパンを製造・販売し、付加価値の高い商品作りを通して地産地消に貢献しています。



◀「まるでダイヤモンドみたいです！」と巣箱を覗き込むメンバー



◀銀座の白鶴酒造さんは屋上に「酒米」を植えて緑化活動に参加。収穫にはスワンのメンバーもお手伝いしている



▲すでに収穫が終わった約1トンのジャガイモ



◀福島では収穫した菜種（写真上）で菜種油の製造も体験



▲50アールの耕作放棄地にえだ豆やとうもろこし、ソバなど多くの作物を作っている

こんな専門家の  
アライアンスも！

### 耕作放棄地の無農薬野菜と銀座生まれのハチミツから新デザートが誕生！

山形県鶴岡市の庄内平野の片隅にあるイタリア料理店「アル・ケッチアーノ」。このお店は、日本中の食通が集まるカリスマシェフのお店です。その奥田シェフに、銀座生まれのハチミツと福島県の耕作放棄地で作られた無農薬のジャガイモと菜種油を使った新しいデザートのお考えをお願いしました。また、奥田シェフ自らスワンのメンバーに新商品の作り方を楽しくご指導いただきました。この新デザートは、スワンカフェ銀座店で好評発売中です。



◀奥田政行シェフから直接指導を受けるメンバー

▶新デザートの名前は「銀ばち×スワンカフェジャガブリュレ」ぜひ一度お試しあれ！



★スワンの活動についてはスワンのホームページをご覧ください

スワンベーカリー

検索

進んだのも、その点を満たせたことが大きかったと思います。こうした相互に力を発揮できるアライアンスが実現すれば、地産地消、屋上緑化、さらに都市間交流など、社会的にもより意義ある事業も可能となっていくかも知れません。これからも『売り手・買い手・社会にも良し』となる、そんな事業を展開していきたいと考えています」と話しています。

スワンのメンバーは、福島県の畑で野菜の植えつけや収穫をお手伝いしています。無農薬で育てかつ手掘りで収穫されたジャガイモは「おいしい」と評判で、約1トンがすでに完売しました。この秋からは、サツマイモの収穫・販売もはじまります。全国にお届けできる日も間近です。

# スワン工舎のしごと

## ただのクリーニング屋さんでも パン屋さんでもありません

社会福祉法人ヤマト自立センター「スワン工舎新座」では、障がいがあるためにすぐに就職できない方たちが、クリーニングやベーカリーの仕事を通して「働くこと」を学んでいます。「企業に就職する」「仕事を継続する」「自立すること」を目的にした訓練や支援を行っています。

### スワン工舎新座は、どんなところ？



利用者さんは、クリーニングやベーカリーの仕事を通して社会を体験。「働く」を学びます。

- ▼人間関係 あいさつができる
- ▼危険回避 安全・衛生を意識できる
- ▼業務遂行 体力があり、健康体である
- ▼マナー 身だしなみができる
- ▼社会ルール 約束をまもる

#### 利用者さん

●スワン工舎入所

●就労訓練開始

利用者さんの希望や適性によりスワンベーカリー、スワンランドリーで働きながら仕事を学びます。

○働く姿勢の確立  
体力・集中力・持続力



#### 職員

業務訓練  
●本人の適性を見極めながら「働くこと」を指導

定期的な面談  
●一人ひとりの適性・課題の把握

就労先の開拓  
●求人折込、ハローワークなどで求人情報収集

求職活動  
●企業へアプローチ

### ●とても丁寧な仕事で助かっています

主管内全部の退職された方の制服が、私のもとに集まって来ます。それを痛んで廃棄するものとまだ使えるものに分け、再利用する制服をクリーニングに出します。クリーニングをお願いするのは、2ヵ月か3ヵ月に一度。まとめて出していますから、お願いする時はダンボールで10箱ぐらいになります。

スワンランドリーさんの仕事は、とても丁寧でいいですね。クリーニングの仕上がりの良さはもちろんですが、さらにクリーニングしたものに「ここに穴があいています」「これはサイズが分かりません」と分かりやすく書いてくれるので、私としてはすごく助かっています。



スワンランドリーに  
発注していただいているお客さまに  
お伺いしました



ヤマト運輸埼京主管支店  
人事総務課  
向山亜希子さん



新座市総務部 秘書広聴課  
村松陽子さん

定期的にお伺いしている新座市役所で「スワンベーカリーのパンを公務が終わった後や残業時の腹ごしらえに購入しています。『とても美味しいですよ』」と村松さん。

## ● DATA～スワン工舎新座

〈概要〉

- ▷定員／23名
- ▷利用時間帯／7:00～19:00
- ▷職員体制／管理者1名、サービス管理責任者1名、職業指導員5名、生活支援員1名、就労支援員3名、事務1名
- ▷事業開始／平成18年4月17日
- ▷授産事業開始／平成18年5月23日
- ▷就労移行支援事業開始 平成18年10月1日

〈実績 平成22年7月31日現在〉

- ▷就労実績／47名
- ▷入所者／83名(就労外退所者／9名)
- ▷就労後離職者／6名
- ※ 離職者の定着期間／平均約17ヵ月

就労先業種・職種

流通食品(バックヤード)	4名
流通衣料品(バックヤード)	4名
流通雑貨(バックヤード)	3名
物流(仕分け)	6名
物流(梱包)	2名
物流(構内作業)	4名
物流(データ入力)	1名
清掃(清掃)	7名
クリーニング(プレス・仕分け)	3名
製造(ダンボール製造)	1名
食品(パン製造)	4名
食品(食材加工)	1名
食品(惣菜盛付け)	4名
食品(食材検品)	1名
食品(梱包・発送)	1名
飲食店(厨房)	1名
計	47名

※47名内ヤマト運輸関連企業に11名就労(23.4%)

## ●衣類のクリーニング事業 ～スワンランドリー

事務所や工場の作業着に特化したクリーニング事業を展開しています。安全意識を学び、就労に向けて訓練していきます。



## ●パンの製造・販売事業 ～スワンペーカリー

タカキペーカリーが開発する冷凍生地を提供を受け、独自の焼き立てパンを製造・販売しています。衛生意識の重要性を学びます。



## ●障がい者の雇用拡大へ、 開拓・連携していきたい

障がい者に特化した求人は決して多い訳ではありません。ですから一般の求人でも、利用者さんにできる仕事があれば、どんどん応募、面接していただくようにご紹介しています。スワン工舎のスタッフは自ら就職先を開拓されますし、我々もどんどん開拓するように心がけています。これからもお互いに連携し、利用者さん一人ひとりに合った求人が確保できるように、一層努力していくつもりです。

ハローワーク朝霞  
所長  
柏俣富廣さん



地元の  
ハローワークで  
スワン工舎の  
障がい者雇用  
について  
お聞きしました

## ●毎日、求人情報をチェックし、 お送りするようにしています。

スワン工舎のスタッフは、利用者さん一人ひとりの能力をしっかりと把握されていて「それぞれにあった求人はないか」と、毎日ここで求人情報を検索されています。また、就職後は「しっかりやれているだろうか」と様子を見に行くなどの配慮も…。日頃からそんな姿を見ているから、私たちもできる限り応援したくなるのです。

「これならできるかもしれない」という情報があれば、すぐにお伝えしています。



ハローワーク朝霞  
障害者専門支援員  
千葉ゆみ子さん

この街で、  
一緒に生きていく。



(財)ヤマト福祉財団  
障がい者のクロネコメール便配達事業

# みんな、社会に出る 突破口を探してる。

山梨県甲府市の甲府北口センター。ここで働くメイトさんは、自転車でメール便配達を始めてまだ2ヶ月ちょっと。最初は戸惑っていたそうですが、今年の猛暑をみごとに乗り切りました。今、この仕事にやりがいを感じていると話します。始めてすぐに、いちばん厳しい季節を体験することになったメイトさんを訪ねました。



甲府駅前の武田信玄像



メール便配達を始めて2ヶ月ちょっとの長田真樹さん。登り坂が続くコースは、今でもきついと言います。しかし、厳しい夏を乗り越えた今、この仕事を、他の人にも勧めてあげたいと話してくれました。

「メール便配達の初日に、長田さんはもうやめたいと言いついて、周りをあわてさせたんです」と、檜の実作業所の小俣弘美施設長。長田さんがメール便配達を始めた2ヶ月前を振り返って笑います。

長田真樹さんがメール便配達をスタートさせたのは、今年の6月。JR甲府駅からほど近い、病院や商店などが立ち並ぶ比較的にぎやかな街が、担当地域です。

ここでは武田信玄公を祭神とする武田神社に向かってゆるやかな上り坂がずっと続き、帰りはずっと下り坂。自転車での配達は、筋力が必要です。自宅から作業所まで、自転車で40分かけて通っている長田さんですが、このコースは今でも大変なのだそうです。

最初は、地理もわからず、暑さや長い登り坂の配達などで、体力的にもきつかったのでしょう。おもわず、やめたいという言葉が漏らしました。



仕分け作業は、センター内で一人で行っています。わからないことがあると、担当者に尋ねます。

しかし、それでも結局今日までの2ヶ月、休むこともなくメール便配達は続きます。始めてすぐに梅雨を体験し、そのあとは記録的な猛暑でした。

「今年の夏の暑さは尋常じゃなかったのに、音をあげませんでした。2週間目には慣れてきて、できるという自信がでてきたみたいですよ」と小俣施設長。今日も一人で淡々と仕事をこなしていきます。

- 山梨主管支店 甲府北口センター  
面積19Km<sup>2</sup>/人口3,518人/世帯数1,702世帯
- 特定非営利活動法人 檜の実作業所  
身体・精神障がいなど、23名が所属。  
組み立て作業他。  
2010年4月メール便配達開始。現在メイトさんは1名。

「障がい者のクロネコメール便配達事業」  
お問い合わせは……(財)ヤマト福祉財団 メール便担当  
TEL 03-3248-0691 FAX 03-3542-5165  
<http://www.yamato-fukushi.jp/>



薬局の店頭では、いつも手渡しをしています。ご苦労さまと声をかけられました。「最初は緊張していたみたいだけど、最近は慣れたみたいですね。自然に挨拶してくれます」と薬局の方。

「こたえは、  
「やってよかった」

長田さんのメール便配達は、甲府北口センターでの仕分け作業から始まります。センター内で働く人たちともきちんと挨拶を交わしながら、一冊一冊丁寧に仕分けしていきます。長田さんは、地図にルートを描きません。配達コースは、仕分けしながら、もうだいたいの計算ができるのだそうです。

仕分けが終わると、自転車のカゴにメール便を乗せて、配達です。配達量は平均して50冊程度。しか



少ない日と多い日の差が大きく、60冊を超えるときは、作業所の職員が配達を手伝っています。通常は、午前中で配達は完了です。まだ2ヶ月しかたっていない

「最初は地図を読むのが難しかった。でも2週間ぐらいで慣れました」と長田さん。しかし今も、体力的にはきついと本音ももらします。でも「すべて一人でやったときに、充実感があります。やりがいを感じています」と話してくれました。

少し前、小俣施設長は長田さんに、仕事はどうかと聞いてみたそうです。返ってきたこたえは、「やってよかった」。ほっとしたと笑います。

人間関係が苦手な人にも、  
トライしやすい仕事。

小俣施設長は、メール便配達を始めてから、長田さんの仕事ぶりが変わったと感じています。宅急便センターでの仕分け作業のために30分早く来所したり、休憩時間を自分でけずって、メール便配達に戻ることもあるそうです。仕事への意識が高くなった、と言います。

「障がいがある人間関係が苦手な人にとって、メール便配達はトライしやすい仕事だと思えます。一人で仕事をこなしながら、少しずつ慣れていきますから。この仕事を始める前はのんびりとした感じだった長田さんが、今はキリリとして、顔つきも変わったと小俣施設長。問題が起こったときに、自分で解決していけるようになったと言います。また、体力がつくことで、忍耐力もできました。メール便配達を始めて本当によかったと話します。

「障がい者は、どこかで社会に出たいという想いを持っているんです。みんな、その突破口を探しているんです」

仕事場の雰囲気  
やさしくなった。

山梨では、障がい者によるメール便配達を行う作業所は2年前まで1ヶ所しかありませんでしたが、1

年で5ヶ所に増えたそうです。

その理由のひとつを、山梨主管支店 メール便営業課の深沢宏之課長は、彼らの仕事がとても信頼できるからと話します。「非常にまじめにやってくれます。間違いを、ほとんど聞きません。仕事の確かさが実績にすぐに出ています」

甲府北支店の小林信夫支店長も、彼らが職場にいい影響を与えていると話します。「彼らの仕事ぶりに感化されて、お客様との話し方が丁寧になったドライバーもいます。仕事場の雰囲気がとてもやさしくなりました」。社会に障がい者との接点を、もっと作っていくべきだと言います。



いつもとびぎり明るい笑顔で、長田さんをサポートする“桜の実作業所”小俣弘美施設長(右)。突然の土砂降りの雨に、二人で全身びしょ濡れで配達したこともあったそうです。「成長する姿を見ていると、私も元気になるんです」と話します。



右から/ヤマト運輸山梨主管支店 甲府北支店 小林信夫支店長、“桜の実作業所”小俣弘美施設長、長田真樹さん、ヤマト運輸山梨主管支店 メール便営業課 深沢宏之課長、ヤマト福祉財団関東支部 関東東地区担当 平井忠事務長

取材月の後半には、長田さんに、初めてメール便配達での正式なお給料が出るそうです。「そのときの反応が楽しみ」、そう話す小俣施設長もうれしそうです。「最初につらい夏を体験したのは、逆によかったのかもしれない。乗り越えるという自信をつけたみたいですから、たくましくなりました」

大変ですと言いつつ、半袖のシャツをたくし上げて誇らしげに腕を見せてくれた長田さん。真っ黒に日焼けした腕が、シャツの下、白い肌と相まって、この夏の彼の成長を物語っているようでした。

# "お総菜が売れていくのがうれしい" 好きな調理がしごとになりました



今回はスーパーマーケットのデリカに勤める3名の女性をご紹介します。  
みな調理好きで週5日、楽しく働いています。

左から、鈴木李枝さん、松山唯衣さん、木村聡美さん

■ヤマト自立センター スワン工舎新座 2006年より障がい者の就労支援に取り組んでいます。必要なスキルの習得や、就職先の開拓、さらに定着のためのケアまで。一貫性のあるサポートです。(P.10を併せてご参照ください)

■株式会社クックサン 東京都立川市に本社を置き、関東で店舗展開を図るスーパーマーケットチェーン「いなげや」のグループ企業。店舗内で、惣菜や寿司の調理・販売をしている。店舗数は126に上る。



鈴木李枝さん／いなげや和光新倉店(平成22年6月1日入社) 障害者支援センターからの紹介でスワン工舎へ。今回が初めての就労です。お店ではお寿司部門を担当し、お客様へのおすすめも上手。「仕事は楽しい! 自分が作ったおむすびが全部売れたときが一番うれしかった」。



松山唯衣さん／いなげや大泉学園店(平成21年8月12日入社) お弁当の製造を一人でこなしています。(株)クックサンを見学後、本人の希望で面接。とんとん拍子に就職が決まりました。数あるトレーを家に持ち帰り、覚えてくほど仕事熱心です。今では自信を持って働いています。



木村聡美さん／いなげや秋津駅前店(平成21年8月17日入社) 「お給料は洋服とか好きなジャンニースの写真などに使ってます。最近もKAT-TUNのコンサートに行ってきました。好きな調理を仕事にしたことで体力もつき、責任感も出てきました。」

はお店の経費という形ではなく、

出ます。

ただし、障がい者さんの給与  
「今年7月の改正障害者雇用  
促進法への対応から、障がいの  
ある方の採用を増やしていく考  
えはありますが、当社では基本  
的に採用に当たって差をつける  
ようなことはしていません。給  
与も健常者、外国籍の方含め、一  
律ですし、ちゃんとボーナスも  
出ます。」

「管理部門人事課採用教育グル  
ープ主任の大図さんに障がい者雇  
用についてお聞きしました。」

「(株)クックサンの厨房にはレ  
シビから仕事の段取りまで、事  
細かな指示書がすべて貼り出し  
てあります。また、実習期間はな  
いものの、希望に沿って短時間  
の勤務から始められるため、戸  
惑わずに業務をマスターしてい  
けます。」

お総菜づくりに夢中!  
スワン工舎より楽しい!?

関東を中心に展開するスーパ  
ーマーケット「いなげや」。その総  
業部門を担う株式会社クックサ  
ンで3名のスワン工舎卒業生が  
日々、調理作業を行っています。  
松山さんと木村さんは約1年、  
鈴木さんはまだ日が浅いですが、  
みな「スワン工舎よりクックサ  
ンのほうが楽しい」と語るほど、  
すっかり職場に溶け込んでいま  
す。

たようです。

「実際、卒業生の3人はそれぞ  
れの店舗で(働きたい)を見つけ  
たようです。」

「工場ラインのような仕事と  
は違い、覚えることも多く、一般  
の方でも簡単ではないはずだと  
大図さん。「それでも、とにかく  
楽しく、やってよかったなと思  
えるものがあれば続けていた  
けると思います」

「障がいのある方のためとい  
うわけではなく、誰にでも分か  
るようにと始めたものです。9割  
以上がパートさんです」

「管理費として本社経費で賄うこ  
とで店舗の負担を抑え、バラ  
ンスを取っています。」



株式会社クックサン  
管理部門人事課  
採用教育グループ 主任  
大図 勉さん

## 小倉昌男賞受賞者の取り組み第2弾 障がい者の暮らし変革塾公募説明会

小倉昌男賞受賞者の指導力を活かし、工賃5万円を実現するプロジェクトの第2弾「障がい者の暮らし変革塾」の公募説明会を8月22日、品川カンファレンスセンターで行いま



変革塾リーダーのはらから福祉会理事長・武田 元さん

した。

変革塾のリーダーは第3回ヤマト福祉財団賞受賞、約300人に5万円の工賃を実現するはらから福祉会理事長、武田 元さん。サブリーダーは第10回小倉昌男賞受賞、クッキーで1億6000万円

を売るがんばりカンパニー所長、中崎ひとみさんです。

自主製品だけを売ることにはこだわ

るのではなく、仕入れて売り、自分たちの製品も卸して売ってもらう双方向のやりとりや、設備や技術はなくてもアイデアはあるという施設と、設備は持っても十分に活かさないという施設が双方向で協力することで、工賃アップを実現しているという試みです。

公募説明会には全国から23施設が参加。互いの知恵やできることを持ち合せて、3年後に5万円の工賃実現を目指します。



意見交換会では、がんばりカンパニー所長・中崎ひとみさんを中心にそれぞれの施設で行っている事業を発表

## 「夏のカンパ」より4,600万円のご寄付をいただきました

湯沢カルチャーセンター（新潟県南魚沼郡）で9月16日、ヤマト運輸労働組合第64回定期中央大会が開催されました。その中で「夏のカンパ」の贈呈式が行われ、ヤマト運輸労働組合とヤマト労連で集められた5,715万円から、財団に4,600万円のご寄付をいただきました。

贈呈式でカンパの目録を受け取った有富理事長は財団の



石田中央執行委員長(左)より贈呈されました

事業の紹介をしながら、「障がいのある方の自立支援のために、夏のカンパを有効に使わせていただきます。ありがとうございました」とお礼のあいさつをしました。

## 働くちから革新塾が動き出しました 第1回合宿研修会開催



障がい者の働くちから「革新塾」の第1回合宿研修会を9月25・26日、品川カンファレンスセンター（東京）で行いました。核になる3施設が行っている事業や工賃

など現状を把握するところから合宿がスタート。武蔵野千川福祉会施設長の新堂 薫さんを塾長として、共に学びたいと集まった7施設が塾に加わりました。今後は職員の役割や、知的障がい者の働く環境を整える方法などを学び実践していきます。

## 成分表示を「入っていない」から「入っている」へ スワンのクリスマスケーキ ハッピー-KOMEKO

スワンのクリスマスケーキで、昨年「小麦・卵・乳製品不使用」としていたケーキの成分表示が、今年から変わります。

「本当の患者さんは、入っているものの表示を見て買っているんです。たとえば、糖類でも何に由来している糖類なのかを患者さんは知りがっている」というアレルギーの専門家のことばから、今年のハッピー-KOMEKO ケーキプロジェクトが始まりました。

「スワンだからこそ世の中に流通していないアレルギー患者さんのためのケーキを作るべきだと、4年前から取り組んできました。そしてJALやANAでアレルギー対応の機内食を手がける辻安全食品さんとの出会いがあり、監修をしていただき、患者さんの目線に立った成分表示になったのが今年のケーキです」と(株)スワンの海津社長。

とは言っても右から左へ簡単にできるものではありません。



米粉のスポンジにいちご豆乳クリームと黄桃をサンドしてフルーツで飾ったハッピー-KOMEKO



「味は二の次でも安心なものを作る」という専門家のスタンスと「安全を優先させても、おいしくなければ出せない」という工場のケーキ作りの熱意が絡み合い、そこに相乗効果が生まれ、見た目、味、ともに納得のいくものに仕上がりました。

「おいしい」と口コミで広がっていったら、平月でもご提供できるように、というのがスワンの願いです。

小麦・卵・乳製品不使用のケーキだけでなく、定番のクリスマスケーキも同様に自宅までお届けします(裏表紙参照)。

■作業所でもスワンのケーキを取り扱うことができます■  
(株)スワン本部 担当:藤野まで(TEL03-3543-1067)  
ホームページ▶<http://www.swanbakery.jp/>

# カンディンスキーと 青騎士展

レンバツハハウス  
美術館所蔵



ヴァシリー・カンディンスキー「花嫁」  
1903年 グラッシュ、褐色のカードボード  
レンバツハハウス美術館蔵



ヴァシリー・カンディンスキー「印象Ⅲ (コンサート)」1911年  
オイルテンペラ、カンヴァス レンバツハハウス美術館蔵



フランツ・マルク「虎」1912年  
油彩、カンヴァス  
レンバツハハウス美術館蔵

開催期間▶2010年11月23日(火・祝)～2011年2月6日(日)  
休館日▶月曜日・元日・1月4日(火)1月11日(火)  
※ただし1月2日、3日、10日、31日は開館  
開催場所▶三菱一号館美術館(東京・丸の内)  
東京メトロ千代田線・二重橋前駅(1番出口)から徒歩3分  
都営三田線・日比谷駅(1番出口)から徒歩3分  
JR東京駅(丸の内南口)・JR有楽町駅(国際フォーラム口)から徒歩5分  
開館時間▶[水・木・金]10:00～20:00 [火・土・日・祝]10:00～18:00  
※入館は閉館の30分前まで  
※12月29日～1月3日(元日を除く)は10:00～18:00

## 入館料▶

	一般	高校・大学生	小・中学生
当日	1,400円	1,000円	500円

○障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名は半額割引  
問い合わせ先▶  
ハローダイヤル 03-5777-8600  
展覧会公式HP <http://mimt.jp/aokishi/>  
主催▶三菱一号館美術館、東京新聞  
学術協力▶レンバツハハウス美術館  
後援▶ドイツ連邦共和国大使館  
協力▶ルフトハンザドイツ航空、ルフトハンザカーゴAG

## 巡回情報 2011年

2月15日(火)～4月17日(日)  
愛知県美術館  
4月26日(火)～6月26日(日)  
兵庫県立美術館  
7月5日(火)～9月4日(日)  
山口県立美術館



弾圧と戦禍をVVV抜粋  
しかし今まさにこれからという1914年、第一次世界大戦が欧州を席卷します。グループの主要な芸術家は散り散りになり、青騎士たちの情熱はミュンヘンから失われてしまいました。ドイツに残ったメンバーの一人ミュンターはしかし、ナチスが台頭する困難な時代にもグループの作品を手元を守りつづけ、1957年にミュンヘン市とレンバツハハウス美術館へ寄贈。20世紀アートの高揚を私たちに届けてくれました。本展の美術品取り扱い扱いにヤママトロジステイクス株式会社は協力しています。

現代芸術の扉を開いた「青騎士」たち  
20世紀初頭、その後のアートシーンに多大な影響を残した革命的芸術運動がドイツで起きます。表現主義です。その先導役を果たしたのがカンディンスキーを中心とする「青騎士」と呼ばれた芸術家グループです。彼らの活動は1911年、カンディンスキーの作品がミュンヘン新芸術家協会の展覧会に拒否されたことを契機に活発化します。翌年には自らの作品を発表する場として年鑑誌「青騎士」を発行し、一躍脚光を浴びました。

All images / Städtische Galerie im Lenbachhaus und Kunstbau München

## ヤマト福祉財団全国支部連絡先 (ヤマト運輸(株)内)

支部	事務長	連絡先
北海道支部	加藤房男	TEL.011-891-5040
東北支部	小原 守	TEL.022-374-8065
東京支部	樋口光徳	TEL.03-5564-3705
関東支部	塚本良輔	TEL.045-508-6106
関東支部東地区	平井 忠	TEL.043-259-7364
北信越支部	南雲真一	TEL.025-231-9512
中部支部	矢野静香	TEL.052-725-3633
関西支部	石田久雄	TEL.06-6682-8570
中国支部	竹下憲雄	TEL.082-849-1451
四国支部	久龍猛志	TEL.0877-46-7875
九州支部	目野和彦	TEL.092-931-3310
沖縄支部	古謝盛裕	TEL.098-840-3605

賛助会員個人51,372人 ヤマトグループ法人会員 (2010年3月31日現在)  
本誌の無断転載・転用を禁じます。©(財)ヤマト福祉財団

## 2010スワンのX'masケーキ



今年もスワンのケーキを、ご自宅までお届けします。

申込み▶11/1～12/5 お届け▶12/20～12/24

施設作業所でもスワンのケーキを取り扱うことができます  
(株)スワン本部 担当:藤野まで(TEL03-3543-1067)  
HP▶<http://www.swanbakery.jp/>

アメリカ大豆協会認定の大豆インクを使用しています。

